

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カインス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成26年8月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,489	1.8	107	36.5	107	39.5	70	55.2
26年3月期第1四半期	1,463	5.3	78	24.2	77	42.4	45	39.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	15.78	—
26年3月期第1四半期	10.17	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第1四半期	6,171		3,115		50.5	699.92
26年3月期	6,088		3,073		50.5	690.44

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,115百万円 26年3月期 3,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	12.50	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 5円00銭(創業40周年記念配当)

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,900	4.4	150	7.8	140	2.8	85	△3.5	19.30
通期	6,000	3.4	330	3.7	315	0.3	200	3.6	44.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	4,558,860 株	26年3月期	4,558,860 株
27年3月期1Q	107,697 株	26年3月期	107,697 株
27年3月期1Q	4,451,163 株	26年3月期1Q	4,451,523 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報	1
	（1） 経営成績に関する説明	1
	（2） 財政状態に関する説明	1
	（3） 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2	サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
	（1） 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
	（2） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3	継続企業の前提に関する重要事象等	2
4	四半期財務諸表	3
	（1） 四半期貸借対照表	3
	（2） 四半期損益計算書	4
	（3） 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
	（4） 四半期財務諸表に関する注記事項	6
	（継続企業の前提に関する注記）	6
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
	（セグメント情報等）	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期累計期間における我が国経済は、前事業年度に引き続き、金融緩和や公共投資促進等による景気刺激策によって雇用・所得環境にも改善が見られるなど、堅調に推移してまいりました。

海外においては、米国経済は緩やかな回復基調にありますが、欧州経済の脆弱さや新興国経済の減速懸念等の状況は変わっておらず、引き続き不透明な状況にあります。

臨床検査薬業界におきましては、国の医療費抑制政策や市場における価格競争による影響を受ける等の厳しい状況は続いておりますが、当社は収益確保に向けた対策を継続してまいりました。

このような環境の下、当第 1 四半期の売上高につきましては、14 億 8 千 9 百万円 (前年同期比 1.8% 増) となりました。

検査分野別で見ると、生化学分野におきましては、肝機能検査薬と腎機能検査薬が堅調に推移したことにより 4 億 2 千 1 百万円 (前年同期比 0.0% 増) となりました。

免疫分野におきましては、輸血検査薬等が堅調に推移したことにより 9 億 4 千 5 百万円 (前年同期比 0.8% 増) となりました。

また、その他の分野におきましても、輸血検査機器が堅調に推移したことにより 1 億 2 千 2 百万円 (前年同期比 18.4% 増) となりました。

この結果、営業利益につきましては、1 億 7 百万円 (前年同期比 36.5% 増)、経常利益につきましては、1 億 7 百万円 (前年同期比 39.5% 増) となり、四半期純利益につきましては、7 千万円 (前年同期比 55.2% 増) となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第 1 四半期累計期間 〔自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月 30 日〕		当第 1 四半期累計期間 〔自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月 30 日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	396,303	27.1	398,168	26.7
	免疫血清学的検査用試薬	142,123	9.7	196,119	13.2
	そ の 他	97,184	6.6	119,480	8.0
	計	635,612	43.4	713,767	47.9
商 品	生化学的検査用試薬	25,432	1.7	23,695	1.6
	免疫血清学的検査用試薬	795,715	54.4	749,085	50.3
	そ の 他	6,627	0.5	3,409	0.2
	計	827,775	56.6	776,190	52.1
合 計	生化学的検査用試薬	421,736	28.8	421,864	28.3
	免疫血清学的検査用試薬	937,838	64.1	945,204	63.4
	そ の 他	103,812	7.1	122,889	8.2
	計	1,463,387	100.0	1,489,958	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第 1 四半期会計期間末における総資産の額は、61 億 7 千 1 百万円となり、前事業年度末と比べ 8 千 3 百万円増加いたしました。流動資産は 30 億 5 千 8 百万円となり、前事業年度末と比べ 7 千 6 百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金 8 千 7 百万円、原材料及び貯蔵品 3 千 7 百万円がそれぞれ減少したものの、現金及び預金が 2 億 1 千 5 百万円増加したことにより。固定資産は 31 億 1 千 2 百万円となり、前事業年度末と比べ 6 百万円の増加となりました。その主な要因は、減価償却費 3 千 1 百万円を計上したものの、機器関連など 3 千 3 百万円の取得により増加しております。

当第 1 四半期会計期間末における負債の額は、30 億 5 千 5 百万円となり、前事業年度末と比べ 4 千 1 百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金 4 千 2 百万円、未払法人税等 5 千 7 百万円、賞与引当金 2 千 1 百万円がそれぞれ減少したものの、その一方で、短期借入金

2 億 9 千万円増加したことによります。

当第 1 四半期会計期間末における純資産の額は、31 億 1 千 5 百万円となり、前事業年度末と比べ 4 千 2 百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金 3 千 3 百万円の支払いがあったものの、その一方で、四半期純利益 7 千万円を計上したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 1 四半期会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) の残高は 10 億 3 千 8 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 億 1 千 5 百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は 7 千 2 百万円の増加 (前年同期は 6 千 6 百万円の増加) となりました。その主な増加要因は、仕入債務の減少 4 千 3 百万円、法人税等の支払額 6 千 6 百万円、その他 3 千 8 百万円などの支出により減少したものの、その一方で、税引前四半期純利益 1 億 7 百万円、減価償却費 3 千 1 百万円、売上債権の減少 8 千 7 百万円などによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は 5 百万円の支出 (前年同期は 1 千万円の支出) となりました。その主な支出要因は、有形固定資産の取得 2 百万円及び無形固定資産の取得 3 百万円などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は 1 億 4 千 8 百万円の増加 (前年同期は 1 億 9 千 3 百万円の増加) となりました。その主な増加要因は、配当金の支払額 3 千 3 百万円などの支出をしたものの、短期借入金の純増額 1 億 9 千万円によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内経済は、金融緩和や公共投資の促進等、景気刺激策の効果により堅調に推移するものと予想されますが、一方で欧米諸国の財政問題懸念は続いており、その先行きは不透明な状況のなかで推移するものと思われまます。

また、臨床検査薬業界におきましても医療費抑制政策及び市場での価格競争等から、厳しい状況は継続するものと思われまます。

第 2 四半期以降につきましては、平成 26 年 5 月 9 日付「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせしました第 2 四半期累計期間及び通期業績の予想は、変更しておりまません。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,163,079	1,378,440
受取手形及び売掛金	1,318,590	1,230,816
商品及び製品	205,267	209,085
仕掛品	41,614	56,365
原材料及び貯蔵品	161,394	124,164
その他	95,460	62,968
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,982,507	3,058,939
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	750,566	740,752
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	148,440	164,728
有形固定資産合計	2,750,460	2,756,933
無形固定資産	47,436	43,121
投資その他の資産	307,652	312,473
固定資産合計	3,105,549	3,112,528
資産合計	6,088,056	6,171,468
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,038,382	996,024
短期借入金	960,000	1,250,000
未払法人税等	73,254	16,137
賞与引当金	100,538	78,900
その他	350,956	323,021
流動負債合計	2,523,132	2,664,083
固定負債		
長期借入金	400,000	300,000
その他	91,645	91,914
固定負債合計	491,645	391,914
負債合計	3,014,777	3,055,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,381,269	1,418,130
自己株式	△90,510	△90,510
株主資本合計	3,050,905	3,087,766
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,373	27,703
評価・換算差額等合計	22,373	27,703
純資産合計	3,073,279	3,115,470
負債純資産合計	6,088,056	6,171,468

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	1,463,387	1,489,958
売上原価	999,073	970,035
売上総利益	464,314	519,923
販売費及び一般管理費	385,529	412,407
営業利益	78,784	107,516
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,165	3,360
為替差益	—	586
その他	3,608	1,221
営業外収益合計	6,773	5,168
営業外費用		
支払利息	4,626	3,784
手形売却損	328	218
為替差損	2,277	—
その他	1,009	846
営業外費用合計	8,241	4,849
経常利益	77,316	107,835
特別損失		
固定資産除却損	135	186
特別損失合計	135	186
税引前四半期純利益	77,181	107,648
法人税、住民税及び事業税	3,017	12,803
法人税等調整額	28,900	24,600
法人税等合計	31,917	37,403
四半期純利益	45,264	70,244

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	77,181	107,648
減価償却費	32,104	31,385
売上債権の増減額 (△は増加)	169,500	87,774
たな卸資産の増減額 (△は増加)	65,941	△4,085
仕入債務の増減額 (△は減少)	△126,187	△43,715
その他	△75,618	△38,624
小計	142,923	140,382
利息及び配当金の受取額	3,658	2,832
利息の支払額	△3,311	△4,295
法人税等の支払額	△76,853	△66,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,416	72,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,250	△2,645
無形固定資産の取得による支出	-	△3,368
その他	△251	375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,501	△5,638
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	240,000	190,000
長期借入金の返済による支出	△6,250	-
配当金の支払額	△33,514	△33,397
その他	△6,510	△7,612
財務活動によるキャッシュ・フロー	193,724	148,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	249,644	215,360
現金及び現金同等物の期首残高	655,530	823,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	905,175	1,038,440

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。